営農技術情報

令和５年 ６月 １日
宗谷農業改良普及センター
宗谷北部支所

牧草サイレージの調製・農繁期の事故防止について

■牧草サイレージ　良質発酵のポイント

生乳生産を左右する重要なサイレージについて、調製時のポイントを確認し、良質なサイレージを確保しましょう。

○細断サイレージ

- バンカーサイロは、清掃、消毒を行い、衛生的にする。
- 刈高を目安 10 ㎝で調整し、原料草への土や堆肥の混入を防ぐ。
- 運搬通路、スタックサイロの設置場所を整備する。
- サイロ全体を踏圧後(特に壁際、詰め終わり)、速やかに密封する。

○ラップサイレージ

- 水分 50～60%程度を目安に予乾を行う(原料草を握った時に手が湿らない位)。
- ロール成形後は、速やかにラップフィルムで４層巻き以上に密封する。
- 保管は、ラップフィルムのズレやロールの変形を防ぐため、２～３段で縦積みにする。また、ネットをかけるなど鳥獣害対策を行う。

■作業事故の防止に向けて

牧草収穫作業で多忙になると、事故発生の危険性が高まります。
収穫作業で多忙になる前に、緊急時の連絡先や対策方法を確認しましょう。

○機械作業時の事故防止

- 異常が発生した場合は、必ずエンジンを停止してから確認を行う。
- トラクターから降りる際は、ステップの踏み外しによる怪我に注意する。
- けん引トレーラーでのロール運搬時は車両特性を意識し、脱輪に注意して運転する。
- 荷崩れ防止のため、運搬距離が短い場合でもロールを必ずしばって固定する。

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所　TEL 0162-82-2119

HP は「宗谷農業改良普及センター」で検索、またはQR コードから